

γ-GTP		360000		
Y-GTP		担当部署		
検査オーダー		生化		
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		<p>新生児は成人より高値であり、成人は加齢とともに軽度上昇する。妊婦では妊娠後半期に低値を示す。</p> <p>また、飲酒歴ならびに薬物服用歴などが大きく影響する。</p>		
検査受付時間		緊急対応(24 時間)		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		<p>1)採取容器違いの検体</p> <p>2)バーコードラベルの貼られていない検体</p> <p>3)固形物</p> <p>4)粘性のある検体</p>		
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		M:13-64U/L F:9-32U/L 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	U/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	13	64	9	32	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γGT)は、腎、膵、肝、胆、脾、小腸、脳、心筋などに分布するが、特に腎で最も高く、肝での活性は低い。血清γGTは主に肝由来である。</p> <p>肝細胞の機能異常、特に胆汁分泌異常とミクロソーム機能異常の場合に上昇する。</p> <p>日本臨床第7版 13,2009</p>				